

2013 年度 ドクター研究員研究活動実績報告書

ふりがな 氏名	みた ちとこ 三田 智子
(研究テーマ名) 泉州南王子村の村落構造 ～19 世紀を中心に～	
(研究活動実績) <p>本研究では、南王子村と地域社会の関係を分析対象とした 2012 年度までの成果をふまえ、かわた村の人口増加を南王子村の側から検討することを目標とした。南王子村にとって人口の激増は、無高軒数の激増であり、村方騒動が頻発する要因ともなったからである。</p> <p>この点を深めるべく、無高層を中心に 19 世紀以降頻発した博奕問題を素材に分析をおこなった (①③⑥)。その結果、博奕の摘発と予防のため村内で組頭を中心とする管理体制が強化されること、しかしながら貧困層の拡大を直接の原因として博奕問題は拡大の一途をたどり、村入用の拡大につながることで、博奕への関与が欠落(無宿化)や盗賊化などより深刻な犯罪につながることを明らかにした。</p> <p>このほか昨年までの研究を中心に、市民向け、海外研究者向けに研究報告をおこなった (②⑤)。④は畿内のかわた村に関する 80 年代以降の研究動向のせりりである。</p> <p>また UCRC の研究会については、日本近世史関連のものに積極的に参加した。</p> <p>[論文など] ① 「十九世紀泉州南王子村の村落構造－博奕問題を手がかりに－」(『ヒストリア』241 号、13 年 12 月、122 頁-147 頁) [研究発表など] ② 13 年 5 月 22 日「聖神社と信太地域の村々」(和泉シティプラザ市民カレッジ) ③ 13 年 6 月 30 日「19 世紀泉州南王子村の村落構造－博奕問題を手がかりに－」(大阪歴史学会大会) ④ 13 年 9 月 7 日「畿内のかわた村研究をめぐって」(近世史の会) ⑤ 14 年 1 月 9 日「近世和泉国における皮多村と地域社会－泉郡南王子村と信太郷七ヶ村－」(上海大学・大阪市立大学国際共同シンポジウム「都市社会史の方法と実践－中国と日本の比較を通じて－」) ⑥ 14 年 3 月 28 日「Poverty and Village Governance in a 19th Century Kawata Community」(AAS 2014 Annual Conference)〈予定〉</p>	